

1 総会に関する事項

令和7.5.28 午後2時から上野精養軒において第89回定時総会を開催し、下記の事項を決定した。

- | | | |
|------|-------------------|-----------------|
| 審議事項 | 第1号議案 | 令和6年度事業報告承認の件 |
| | 第2号議案 | 令和6年度決算承認の件 |
| | 第3号議案 | 令和7年度事業計画書報告の件 |
| | 第4号議案 | 令和7年度収支予算書等報告の件 |
| | 第5号議案 | 会員人事報告の件 |
| 報告事項 | 令和7年度称号授与予定者報告の件 | |
| | 第11回日展巡回展開催報告の件 他 | |

2 理事会に関する事項

月 日	回 数	主 な 審 議 事 項
令和 7. 5. 13	第 1 回	1. 令和6年度・事業報告及び決算承認の件 2. 令和7年度 称号授与予定者承認の件 3. 第118回日展 開催要綱承認の件 4. 第118回日展 審査員候補者推薦委員会の委員承認の件 5. 各委員会の新委員承認の件 委員会組織の再編（出版委員会を廃止し、日展ニュース委員会の名称を「出版・編集委員会」に変更）承認 諮問委員会、出版・編集委員会及び広報委員会の新委員承認 報告事項 理事長、副理事長の職務執行状況について 退会者及び会友辞退者について
令和 7. 7. 17	第 2 回	第11回日展巡回展入場者数について 第11回日展巡回展神戸会場 決算書について 会計顧問の交代について 1. 日展パートナーズ規則の一部変更案承認の件 2. 第118回日展審査員・係承認の件 3. 第118回日展大臣賞等選考委員会の委員承認の件 報告事項 巡回展基本選定作品の定数削減方針について 第118回日展巡回展 大阪会場について 会友辞退者について
令和 7. 10. 30	第 3 回	1. 公益充実資金取扱規程案及び特定費用準備資金等取扱規程案承認の件 2. 公益充実資金（旧・資産取得資金）の取り崩し承認の件 3. オープニングパーティーの見直し承認の件 4. 巡回展の件 ・巡回展開催協力金の見直し（廃止）承認 ・巡回展基本選定作品の定数削減案承認

令和 8. 3. 19	第4回	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第118回日展巡回展基本選定作品承認の件 ・ 第118回日展巡回展陳列指導者の選考承認の件 <p>報告事項</p> <p>理事長、副理事長の職務執行状況について</p> <p>退会者及び会友辞退者について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 第119回日展 関連事項承認の件 <ul style="list-style-type: none"> 会期・観覧時間及び入場料金について 出品手数料について 出陳者内覧会について 各科出品者懇親会について 開会式・テープカットについて オープニング・パーティーについて 授賞式について 会期中のイベントについて 巡回日程(案)について 2. 会員人事承認の件 3. 準会員人事承認の件 4. 会友人事承認の件 5. 会友資格喪失者承認の件 6. 令和8年度事業計画書(案)及び収支予算書(案)等承認の件 7. 第119回日展 各科展示室配分の見直し(案)承認の件 8. 定時総会日時及び予定議案承認の件 <p>報告事項</p> <p>内閣府公益認定等委員会の立入検査について</p> <p>和光「第10回 美の魁け一日展の現代―」展について</p>
-------------	-----	---

3 監事会に関する事項

月 日	回 数	主 な 審 議 事 項
令和 7. 5. 13	第1回	1. 令和6年度事業報告及び決算承認の件

4 審査員候補者推薦委員会に関する事項

月 日	回 数	主 な 審 議 事 項
令和 7. 7. 3	第1回	1. 審査員候補者の選考承認の件

5 係(展覧会)会に関する事項

月 日	回 数	主 な 審 議 事 項
令和 7. 8. 6	第 1 回	1. 展示室各科割り振りに関する件 2. 入場料金に関する件 3. 入場券および招待状等印刷物承認の件 4. 特別入場券販売促進に関する件 5. 「日展目録」表紙承認の件 6. 各科展覧会打合せ会承認の件 7. 搬入受付係とアシストに関する件 8. 出品者懇親会に関する件 9. 事務日程に関する件 10. 各科展覧会の記録に関する件 11. その他

6 審査員総会に関する事項

月 日	回 数	主 な 審 議 事 項
令和 7. 9. 29	第 1 回	1. 各科審査主任承認の件 2. 日展審査員行動基準(ガイドライン)等の確認、審査方針承認の件 他

7 大臣賞選考委員会に関する事項

月 日	回 数	主 な 審 議 事 項
令和 7. 10. 30	第 1 回	1. 内閣総理大臣賞の件 2. 文部科学大臣賞の件

8 東京都知事賞選考委員会に関する事項

月 日	回 数	主 な 審 議 事 項
令和 7. 10. 30	第 1 回	1. 東京都知事賞の件

9 日展会員賞選考委員会に関する事項

月 日	回 数	主 な 審 議 事 項
令和 7. 10. 30	第 1 回	1. 日展会員賞の件

10 委員会等に関する事項

諮問委員会

令和7年度における会合は1回開催

(第1回) 令8. 2. 18

主な審議事項

1. 委員の互選により議長・副議長を選出した。(第1回)
2. 第118回日展の応募状況・審査結果等について、事務局より委員に説明後、意見交換を行った。(第1回)
3. 日展における作家育成について、意見交換を行った。(第1回)

日展運営委員会

令和7年度における会合は4回開催

(第1回) 令7. 4. 21 ・ (第2回) 令7. 7. 3 ・ (第3回) 令7. 9. 29 ・ (第4回) 令8. 2. 18

主な審議事項

1. 令和6年度決算関連事項について協議、検討した。(第1回)
2. 各委員会(出版・日展ニュース)の在り方について協議、検討した。(第1回)
3. 第118回日展の出版物について、事務局より見積金額等関連資料の配布、説明の後、内容、発注業者、仕入・販売価格、印刷部数等を検討し、基本方針を決定した。(第2回)
4. 巡回展基本選定作品の定数について、関連資料の配布、説明の後、意見交換を行い、定数を削減する方向で具体的な改定案の作成を進めることを確認した。(第2回)
5. オープニング・パーティーについて、これまでの開催実績や開催に係る経費等関連資料の配布、説明の後、その運用方法の見直しについて意見交換を行った。(第2回)
6. 第118回日展巡回展大阪会場について、開催に向けての進捗状況を確認した。(第2回)
7. 巡回展基本選定作品の定数削減案について協議、検討し、原案通り理事会に諮ることを確認した。(第3回)
8. 公益充実資金取扱規程(案)及び特定費用準備資金等取扱規程(案)について、関連資料の配布、説明があり、理事会に諮ることを確認した。(第3回)
9. 新規展示台製作のため、その製作費として積み立てている公益充実資金(旧・資産取得資金)を取り崩す案についての説明があり、理事会に諮ることを確認した。(第3回)
10. 巡回展開催協力金の見直しについて協議、検討し、令和8年度より廃止する方向で理事会に諮ることを確認した。(第3回)
11. オープニングパーティーの見直しについて、第2回委員会での検討内容を踏まえ、改めて協議、検討し、5年ごとの周年記念パーティーとして実施する案を理事会に諮ることを確認した。(第3回)
12. 令和8年度日展事業予算案について協議、検討し、入場料金の改定及び出品手数料の改定を踏まえた予算案を理事会に諮ることを確認した。(第4回)
13. 第119回日展各科展示室配分の見直し案について、関連資料の配布、説明の後、意見交換を行い、理事会に諮ることを確認した。(第4回)

出版・編集委員会

令和7年度における会合は5回開催

(第1回) 令7. 5. 20・(第2回) 6. 12・(第3回) 8. 27・(第4回) 11. 14・(第5回) 12. 11

主な審議事項

1. 委員会組織の再編に伴い、委員会の名称が「日展ニュース委員会」から「出版・編集委員会」に変更となったことを報告した。(第1回)
2. ニュース190号の寄稿文「各地からの出品者の思い」各科入選者1名 計5名、「作家人生ー私の仕事ー」2名、「新会員より」の校正を行った。(第1回)
3. ニュース191号の掲載内容を検討した。(第1回)
4. 新旧委員の合同会議を開催、経過報告、引き継ぎを行った。(第2回)
5. ニュース191号の編集進捗状況について報告した。(第2回)
6. ニュース192号の座談会について日程等を協議した。(第2回)
7. ニュース191号の寄稿文「各科審査員より」各科3名 計15名、「作家人生ー私の仕事ー」2名の校正を行った。(第3回)
8. ニュース192号の掲載内容を検討した。(第3回)
9. ニュース192号の座談会の進行等を確認した。(第4回)
10. ニュース192号の編集進捗状況について報告した。(第4回)
11. ニュース192号の座談会を開催した。(第4回)
12. ニュース192号「座談会」、寄稿文「新入選者ー喜びと抱負ー」各科3～6名 計18名の校正を行った。(第5回)
13. ニュース192号・193号掲載する「教えて、作家さん」の人選を委員に依頼した。(第5回)
14. ニュース193号の掲載内容を検討した。(第5回)

広報委員会

令和7年度における会合は6回開催

(第1回) 令7. 4. 17・(第2回) 5. 9・(第3回) 6. 12・(第4回) 8. 22・(第5回) 9. 8・(第6回) 令8. 3. 4

※第1回及び第4回は小委員会

主な審議事項

1. 第118回日展告知キャンペーンの基本方針を確認、実施内容を検討した。(第1回・第2回・第3回)
2. 新旧委員の合同会議を開催、前年度広報活動報告の後、第118回日展告知キャンペーンの基本方針を確認、実施内容を検討した。(第3回)
3. 理事長対談について検討した。(第1回)
4. 各種ポスターの色、レイアウトを検討した。(第1回・第2回・第3回)
5. 講演会・シンポジウム・映像による作品解説等について検討した。(第1回・第2回・第3回)
6. 特別入場券の販売促進計画を承認した。(第3回)
7. オープニング・パーティーの実施内容を検討した。(第1回・第2回・第3回)
8. 各科審査主任による授賞作品解説撮影について打合せをした。(第4回)
9. オープニング・パーティーの会場を下見し、実施内容の細部打合せをした。(第5回)
10. 第118回日展告知キャンペーンの進行状況を確認した。(第5回)
11. 第118回日展のイベント企画案について検討した。(第5回)
12. 令和7年度の広報活動(告知キャンペーンを含む)の実施内容及び実績について報告、問題点を検討した。(第6回)
13. 令和8年度の告知キャンペーンの基本方針について検討した。(第6回)

アートプロジェクト

令和7年度における会合は1回開催

(第1回) 令7.5.1

主な審議事項

1. 令和7年度の実施内容(夏休み1日ART体験「Oneday Art」)を検討した。(第1回)

アートプロジェクトの令和7年5月1日現在のメンバー(オブザーバー含む)は下記の通り。

[アートプロジェクト]

岩田 壮平	亀山 祐介	川田 恭子	能島 浜江	米谷 清和	佐藤 哲
片岡 世喜	茅野 吉孝	菊池 元男	桑原 富一	佐藤 祐治	田中 里奈
田辺 知治	前田 潤	山田 朝彦	寺山 三佳	中原 篤徳	廣川 政和
山崎 茂樹	吉岡 徹	相武 常雄	青木 宏憧	上原 利丸	林 香君
福富 信	小島 泰明	高木 聖雨	井上 清雅	植松 龍祥	岩井 秀樹

11 「日本美術展覧会」の開催

第118回日本美術展覧会

1. 会 期 令和7年10月31日より11月23日まで 21日間
 〔休 館 日〕 毎週火曜日
 〔観覧時間〕 午前10時～午後6時(入場は午後5時30分まで)

2. 会 場 国立新美術館(東京都港区六本木7-22-2)

3. 応募点数並びに入選点数

() 前年度比

	第1科 日本画	第2科 洋画	第3科 彫刻	第4科 工芸美術	第5科 書	合計
応募点数	344 (+9)	1,372 (-3)	75 (-8)	587 (-5)	9,059 (+397)	11,437 (+390)
入選点数	149 (-10)	541 (+2)	62 (+4)	457 (-8)	1,136 (+22)	2,345 (+10)
新入選点数	21 (+5)	60 (+11)	9 (-1)	34 (-2)	172 (+9)	296 (+22)

新入選点数は入選点数を含む。

4. 陳列点数

() 前年度比

	第1科 日本画	第2科 洋画	第3科 彫刻	第4科 工芸美術	第5科 書	合計
入 選	149 (-10)	541 (+2)	62 (+4)	457 (-8)	1,136 (+22)	2,345 (+10)
無 鑑 査	139 (+6)	122 (+2)	144 (+4)	114 (+2)	143 (±0)	662 (+14)
計	288 (-4)	663 (+4)	206 (+8)	571 (-5)	1,279 (+22)	3,007 (+25)

無鑑査＝顧問・役員・会員・準会員・前年度特選受賞者

5. 審査員および係

審査員長(理事長) 宮田 亮平

◎印 審査主任

	第1科 日本画	第2科 洋画	第3科 彫刻	第4科 工芸美術	第5科 書
審査員	岡 泰正 清水 康友	橋本 善八 土方 明司	齊藤 泰嘉 守屋 正彦	正村 美里 高波真知子	島谷 弘幸 西高辻信宏
	◎福田 千恵 村居 正之 池内 璋美 加藤 晋 亀山 祐介 米倉 正美 米谷 清和 北村恵美子 能島 千明 藤島 大千 松浦 丈子 安田 敦夫 米田 実 石崎 誠和 辻野 宗一 村山 春菜 山内登喜雄	◎小灘 一紀 斎藤 秀夫 倉林愛二郎 池田 清明 石田 宗之 菊池 元男 平野 行雄 一の瀬 洋 加藤 寛美 木原 和敏 佐渡 一清 西谷 之男 錦織 重治 福田あさ子 小林 理恵 齋藤 均 高田 啓介	池川 直 ◎能島 征二 栗山 賀行 早川 高師 伊庭 靖二 石崎 義弘 上田 ふみ 片山 博詞 白石 恵里 中原 篤徳 二塚佳永子 前芝 武史 宮坂 慎司 吉岡 徹 岡本 和弘 高砂 晴光 森田 一成	井隼 慶人 ◎三田村有純 大樋 年雄 河野 榮一 加藤 令吉 田中 照一 上原 利丸 木谷 陽子 久保 満義 角 康二 田中 紀子 森田 清照 小島 泰明 斉藤 晴之 桜田 知文 繁昌 孝二 堀 菱子	黒田 賢一 ◎高木 聖雨 真神 巍堂 高木 厚人 明石 聰濤 遠藤 彊 鬼頭 翔雲 倉橋 奇艸 寺坂 昌三 中路佳保里 深瀬 裕之 山本 大悦 石澤 桐雨 鹿倉 碩齋 金子 大蔵 中村 史朗 山内 香鶴

○印 係主任

	第1科 日本画	第2科 洋画	第3科 彫刻	第4科 工芸美術	第5科 書
係	池内 璋美 加藤 晋 亀山 祐介 ○米倉 正美 米谷 清和 北村恵美子 能島 千明 藤島 大千 松浦 丈子 安田 敦夫 米田 実 石崎 誠和 辻野 宗一 村山 春菜 山内登喜雄	倉林愛二郎 池田 清明 石田 宗之 菊池 元男 ○平野 行雄 一の瀬 洋 加藤 寛美 木原 和敏 佐渡 一清 西谷 之男 錦織 重治 福田あさ子 小林 理恵 齋藤 均 高田 啓介	栗山 賀行 早川 高師 伊庭 靖二 石崎 義弘 上田 ふみ 片山 博詞 白石 恵里 ○中原 篤徳 二塚佳永子 前芝 武史 宮坂 慎司 吉岡 徹 岡本 和弘 高砂 晴光 森田 一成	大樋 年雄 河野 榮一 加藤 令吉 田中 照一 ○上原 利丸 木谷 陽子 久保 満義 角 康二 田中 紀子 森田 清照 小島 泰明 斉藤 晴之 桜田 知文 繁昌 孝二 堀 菱子	○真神 巍堂 高木 厚人 明石 聰濤 遠藤 彊 鬼頭 翔雲 倉橋 奇艸 寺坂 昌三 中路佳保里 深瀬 裕之 山本 大悦 石澤 桐雨 鹿倉 碩齋 金子 大蔵 中村 史朗 山内 香鶴

6. 授 賞

大臣賞	第1科	内閣総理大臣賞	岸野 圭作	微 風
	第2科	内閣総理大臣賞	大谷 喜男	マイ・ウェイ
	第3科	文部科学大臣賞	堤 直美	双笛譜
	第4科	文部科学大臣賞	村田 好謙	生命の泉
	第5科	文部科学大臣賞	伊藤 一翔	杜甫詩

東京都知事賞	第1科	大豊 世紀	温 室
	第2科	平野 行雄	赤瓦のある島の集落
	第3科	島田見根夫	いつの日か
	第4科	高津 明美	阿蘇煌然
	第5科	野田 正行	月待つと

日展会員賞	第1科	長谷川雅也	蒼 列
	第2科	池上わかな	希望の雫
	第3科	緒方 信行	記憶の風
	第4科	河合 徳夫	芙 蓉
	第5科	西村 東軒	方城臨々

特 選

第1科	井上 律子	秋を編む	大竹しおり	夢見の在処
	大矢 高弓	光のモザイク	島本 純江	風 雅
	福岡 正臣	使 者	前田 恭子	薔薇の咲く
	松永美紀子	みんなで	水野 宏	リバーサイド
	吉岡 珠恵	梅雨入り	若崎 文絵	微睡む庭
第2科	相本 英子	室内、鏡	岡島 真希	陽 光
	亀山 裕昭	red light	北川 直枝	光射すオリーブ
	桐生 義也	愛馬の日	才村 啓	時の調べ
	永山 秀男	静謐・ラヴィ ブリヤント	樋口 文子	大道芸人
	松井 茂樹	静寂の刻	山本 大貴	門 出
第3科	芦田 風馬	約束の街	加藤 真浩	臨
	神谷 睦代	曙 光	園田 陽菜	春うつつ
	高石 麻代	すべての物語の少女たちへ	町野 紗恭	揚 々
第4科	飯島 賢治	早春の風	石原 真理	言の葉
	市場 勇太	遷 移	井上 英基	濤
	阪口 浩史	紅紫の器「濤」	高橋 斗雄	リサイタル
	橋詰 里織	ほどける	平井 恵子	Green Voice
	藤藁 隆	生命の領域	松木 光治	宙、深く
第5科	秋山英津子	万葉の四季	池永 碧濤	邱象升詩
	大崎 雨菘	アルカイック・スマイル	佐川 峰章	夙 敏
	田邊 栖鳳	廓然無礙	角田 大壤	剔 灯
	中右万佐代	八重さくら	西田 健	想 ひ
	蓮見 光春	枯魚過河泣	湯澤 聰	雪の花

7. 入場者数 合計 84,884人 (21日間)

() 前年度比

有 料	入場者数(人)	無 料	入場者数(人)
一 般 券	11,707 (+178)	招 待 券	30,222 (-199)
トワイライトチケット (一 般)	2,880 (-89)	小中学生無料鑑賞券	3,375 (-130)
一般券(場外売)	308 (-29)	学生(高・大)無料	3,626 (-2)
一 般 団 体 券	103 (+29)	資 格 証	17,521 (+1,487)
一 般 前 売 券	2,468 (+734)	優 待 証	1,526 (+551)
特 別 入 場 券	10,710 (+24)	美術家連盟・評論家連盟	438 (+68)
新聞販売店用チケット	0 (-223)		
計	28,176 (+624)	計	56,708 (+1,775)

月日	曜日	入場者数(人)	月日	曜日	入場者数(人)
10/30	木	3,151	11/12	水	3,152
10/31	金	5,651	11/13	木	3,846
11/1	土	2,931	11/14	金	3,818
11/2	日	3,247	11/15	土	4,877
11/3	月・祝	3,329	11/16	日	5,206
11/4	火	休館日	11/17	月	3,899
11/5	水	2,380	11/18	火	休館日
11/6	木	2,086	11/19	水	4,129
11/7	金	2,464	11/20	木	3,826
11/8	土	3,108	11/21	金	4,029
11/9	日	3,704	11/22	土	6,159
11/10	月	3,108	11/23	日・祝	6,784
11/11	火	休館日	計		84,884

※10/30は出陳者内覧会

巡回日展

第11回展分を1会場、第118回展分を2会場、計3会場で開催。

No.	開催地	開催期間	会 場	開 催 者	入場者数(人)
第 11 回 展	富 山	R 7. 4.25～ 5.11	富山県民会館美術館	北 日 本 新 聞 社	14,321
第 118 回 展	京 都	R 7.12.20～R 8. 1.17	京都市京セラ美術館	日展京都展実行委員会	24,595
	名 古 屋	R 8. 1.28～ 2.15	愛知県美術館ギャラリー	中 部 日 展 会	38,540

12 美術に関する講演会及び講習会の開催

講演会・シンポジウム・映像による作品解説等

専門的・客観的視点でのテーマを設けた講演会や、各科独自にシンポジウム形式の討論会を行うほか、日展作家が映像を使って出品作品をわかりやすく解説する。

主催 公益社団法人 日展 協力 国立新美術館
 場所 国立新美術館 3階 講堂(入場無料) (※整理券配布)

開催日時	時間	講堂でのイベント
11月1日 (土)	午後 1:30~3:30 ※途中10分休憩	(日本画) 映像による作品解説「自作を語る」 今年度受賞者(会員賞)長谷川雅也 (特選)大矢高弓・島本純江・福岡正臣・前田恭子・松永美紀子・ 吉岡珠恵・若崎文絵 今年度審査員による座談会 今年度審査員 辻野宗一・村山春菜・山内登喜雄・米田 実・藤島大千 (司会・進行) 米田 実
11月3日 (月・祝)	午後 1:30~3:30 ※途中10分休憩	(洋画) 座談会「今年度審査主任と特選受賞者による座談会」 今年度審査主任 小灘一紀 座談会「今年度審査員と新入選者による座談会」 今年度審査員 平野行雄 今年度受賞者(特選) 亀山裕昭・永山秀男・樋口文子・松井茂樹 (新入選) 鈴木和興・辻川亜紀子・堀なお子 (司会・進行) 寺久保文宣・石田宗之
11月8日 (土)	午後 1:30~3:30 ※途中10分休憩	(彫刻) 「#彫刻の見方 十人十色」 第1部 第118回日展の見どころと特選受賞者「自作を語る」 今年度審査員 石崎義弘 今年度特選受賞者 芦田風馬・加藤真浩・神谷睦代・園田陽菜(ビデオにて)・ 高石麻代・町野紗恭(登壇) 第2部 彫刻がわからなくても楽しめる作品解説 石黒光二 紺谷 武 野村光雄 村山 哲 (司会・進行) 寺山三佳
11月15日 (土)	午後 1:00~2:20 ※途中10分休憩 2:30~4:00	(特別講演) 「私と日展」 日本画家 千住 博 氏 (工芸美術) 映像による作品解説 第118回日展 工芸美術の見どころ 今年度審査員 井隼慶人・三田村有純・大樋年雄・河野榮一・田中照一・ 木谷陽子・久保満義・角 康二・田中紀子・森田清照・ 繫昌孝二・堀 菱子 (司会・進行) 加藤令吉
11月22日 (土)	午後 1:30~3:30 ※途中10分休憩	(書) シンポジウムによる討論会「日展の書」 出席者 遠藤 彊 倉橋奇艸 山本大悦 鹿倉碩齋 金子大蔵 (司会・進行) 高木厚人 映像による作品解説「書」 解説者 有岡郊崖 岩村節廬 日比野博鳳 (司会) 吉澤鐵之

※参加人数 約812名(5日間 特別講演会1回、座談会3回、シンポジウムによる討論会1回、作品解説5回)

らくらく鑑賞会

出品作家達とゆっくり全科のダイジェストを鑑賞する。自己紹介から始まり、昼食や休憩などをはさみながら、鑑賞者が、作家、作品と一歩近づいて、展覧会を楽しむ。

主催 公益社団法人 日展 協力 国立新美術館

場所 国立新美術館(日展会場)

	日本画	洋画	彫刻	昼食	書	工芸美術
	午前10:45～	午前11:30～	午後12:15～	午後12:50～	午後2:00～	午後2:45～
11月10日 (月)	山本 隆	久保 博孝	谷口 淳一		近藤 浩乎	藤田 仁
11月13日 (木)	西田 真人	木原 和敏				

◆参加人数・・・18名（会期中の2日間、全2回 11/13は希望により2部門）

ニ 解説会

一人からでも解説が受けられる。来館時、好きな部門に申し込みをすれば、少人数の解説会に参加できる。

開催日程 第118回日展会期中の平日（土・日・祝日・初日を除く）

午後1時30分～ 30分程度。

定員 各部門20名（5部門）

◆参加人数・・・482名参加（11日間）

13 美術鑑賞及び創作に関する体験講座等の開催

わくわくワークショップ

日展鑑賞を通じて“親子で一緒に感じる、考える、話す”時間を持ち、作品との出会い、発見などの体験を共有する。素材体験から鑑賞まで。

主催 公益社団法人 日展 協力 国立新美術館
場所 国立新美術館 3階 講堂・研修室 各科陳列会場

		指 導 者				
		日本画	洋 画	彫 刻	工芸美術	書
11月2日 (日)	午前 10:30～	川田恭子 野田夕希 森 美樹	天野富美男 小川満章 池上わかな			井上清雅 河西樸堂 吉澤劉石
	午後 2:00～			鈴木紹陶武 廣川政和 安田陽子 境野里香 森田一成 宮地淑江	山本由紀子 林 香君 福富 信 小割哲也 加藤丈尋 富岡大資 村越郁夫	
11月9日 (日)	午前 10:30～	亀山祐介 岩田壮平 新川美湖 林 真	菊池元男 佐藤祐治 田中里奈 小林理恵			歳森芳樹 岡野楠亭 岩井秀樹
	午後 2:00～			上田ふみ 中村優子 野原昌代 堀内有子 吉岡 徹 岡本和弘 (サポート) 山田朝彦	西 緑 田中紀子 吉水絹代 上原利丸	
11月16日 (日)	午前 10:30～	能島浜江 丸山 勉	片岡世喜 茅野吉孝 田辺知治 前田 潤			植松龍祥 野田杏苑 岩村節廬
	午後 2:00～			小関良太 寺山三佳 中原篤徳 原田治展 村山 哲 高砂晴光	勝 孝 田中照一 中村三喜雄 古瀬政弘 小島泰明 手銭吾郎 石黒美男	

◎総参加人数 128 組 316 名

わくわくワークショップ—特別編—「手紙を書こう！」

日展を鑑賞して、好きな作品の作家に手紙を書く。会場内のポストに投函すると、後日作家から返信が届く。鑑賞して思ったことを「言葉」で伝える。

対象 小学生～高校生

◎ 投函数 486 通

夏休み1日ART体験「第20回 Oneday Art」

「作品をつくる」体験をし、作品や作家とのかかわりを通して多様な世界観を学んでほしい—という日展の芸術文化普及活動。

制作した作品は鑑賞プロジェクトチームの指導のもとに陳列、8月17日から8月21日まで日展会館において展示した。参加者以外にも一般の鑑賞者、日展会員などたくさんの方が訪れた。

※共同制作の作品は、この他日展会場、パブリックスペースでも展示。

主催 公益社団法人 日展

後援 台東区教育委員会 荒川区教育委員会

独立行政法人 国立青少年教育振興機構 「子どもゆめ基金助成活動」

場所 日展会館・イベントスペース 他

		指導作家	時間	参加人数	内 容
7月19日 (土)	工芸美術 (漆)	青木宏憧 川口 満 武田 司 繁昌孝二 山口和子 齋藤卯乃 (オブザーバー) 林 香君	13:30 ～ 16:00	25組 47名	<ul style="list-style-type: none"> ・『色漆で描く海の生き物』 ●15 cmの平皿に沈金の技法で絵を描く。 ●漆に関する基礎知識。漆の特徴(種類・性質)を知る。 ●各自で用意したデザイン画をもとに漆を塗った皿を引っ掻く。 ●引っ掻いた箇所沈金の技法で色を施す。 ●磨いて仕上げ。 ●講評。
7月20日 (日)	書	井上清雅 綿引滔天 植松龍祥 岩井秀樹 (サポート) 角田大壤 松浦龍坡 尾花太虚 滑田燿齋 秋山彩華 増川雪子 (オブザーバー) 高木聖雨	13:30 ～ 16:00	29組 53名	<ul style="list-style-type: none"> ・『毛筆文字に親しもう！』 ・木の板に好きな文字を書く。 自分の印を彫り、押印して作品を完成させる。 ●書に関する基礎知識を学ぶ。グループ分けし、それぞれの工程を時間差で体験する。 ●木の素材に自分の名前や好きな文字を書く。色々な書体で書いてみる。 ●自分の印を彫り、押印して作品を完成させる。 ●オリジナル切手用に一文字の作品を仕上げる。 ●講評。作品撮影。片付け。 ●後日 (→つくった作品を切手に)

7月26日 (土)	彫刻	吉岡 徹 寺山三佳 廣川政和 堀内有子 (サポート) 鈴木紹陶武 安田陽子 永江智尚 境野里香 宮地淑江 (オブザーバー) 山田朝彦	13:30 ～ 16:00	38組 61名	<ul style="list-style-type: none"> ・『こんな生き物いたらいいな』 ●彫刻に関する基礎知識を学ぶ。 ●(子供)粘土で原型の制作 芯棒で形を作り、紙粘土でイメージした形の肉付けをする。 ●吊るすための金具を取り付ける。 ●講評。片付け。 ●(中学生・保護者)テラコッタで頭像を作る。 作品は、乾燥させた後、焼成する。
7月27日 (日)	日本画	亀山祐介 岩田壮平 川田恭子 能島浜江 (サポート) 新川美湖 安田敦夫	13:30 ～ 16:00	35組 52名	<ul style="list-style-type: none"> ・『団扇(うちわ)に”涼しさ”を描く』 ●作品例を見せながら日本画の特徴を説明。 画材(岩絵具や麻紙)や、日本画の基本的な技法や木の素材の特徴、歴史を学ぶ。 ●制作の工程を説明。 作家のデモンストレーション ●各自用意してきたデザイン画を元に岩絵具などで描いた後、乾かす ●アクセントをつけたい箇所に筆で膠をひき、箔を貼る。半紙で押えて乾かす。 ●並べてみる。仕上げ。●講評。片付け。○実際に岩絵具と膠を指で溶き、描いてみる。独特の質感を楽しむ。
8月3日 (日)	洋画	桑原富一 片岡世喜 菊池元男 佐藤祐治 田中里奈 田辺知治 前田 潤 茅野吉孝 (オブザーバー) 佐藤 哲	13:30 ～ 16:00	36組 57名	<ul style="list-style-type: none"> ・『みんなの動物園』(油彩) ●油彩画の特徴 油絵具の使い方を学ぶ。 ●作家のデモンストレーション ●描きたいモチーフを選ぶ。F4のキャンバスを使い、動物(実在するもの、しないもの)を木炭でスケッチ。 ●油彩で着色。 ●0号のキャンバスボードに動物を描く。 ●描きあがった作品にサインを入れる。 ●額に入れてみる。講評。片付け。

実施内容(共同制作)	
※1500×850mm1枚もしくは750×850mm2枚パネル	
日本画	『春・夏・秋・冬みんなの“楽しい”を描こう』 ●はがき大の和紙に、それぞれが想像した花を描く。 ●担当作家が描いたバックに、麻紙ボードを貼っていく。
洋画	『みんなの動物園』 ●油彩で0号のキャンバスボードに動物を描く。 ●作家が描いた背景に、キャンバスボードを貼っていく。
彫刻	『好きな野菜と嫌いな野菜』 自分の好きな野菜、嫌いな野菜をカラフルな粘土やビーズなどの材料を取り混ぜて制作する ●作家の用意した背景のパネルに「野菜」を取り付ける。
工芸美術 (金工・七宝)	『色漆で描く海の生き物』 ●大きなパネルで海中を表現する。 沈金の技法で海の生き物を描く。
書	『筆と友だちに』 ●ハガキ大の半紙に好きな文字を書き、切手シートにする(後日→パブリックスペース陳列用)

◎総参加人数 163組 270名

14 研究冊子及び図書の刊行

出版企画実施内容（令和7年度中に刊行または印刷）

第118回日展目録

- [判 型] B5判（タテ18.2cm×ヨコ25.8cm）72頁
- [発行日] 令和7年10月31日
- [発行部数] 2,100部
- [定 価] 200円 [税込]
- [内 容] 東京会場全陳列作品題名および作家名・現住都道府県名を掲載
授賞理由、展示早見表など諸資料掲載
- [表 紙] 黒田賢一
- [製 作] 株式会社新協

第118回日展作品集

- [判 型] A4判変型（タテ29.7cm×ヨコ22cm）152頁 583点掲載
- [発行日] 令和7年10月31日
- [発行部数] 2,200部
- [定 価] 3,500円 [税込]
- [内 容] 全会員・審査員・受賞者の出品作品をオールカラーで収録
作家名・作品題名の英訳（巻末）、諸資料掲載
別冊資料：作家本人による作品解説・釈文（書）掲載 40頁
- [表 紙] 渡辺信喜・小灘一紀・山田朝彦・春山文典・土橋靖子（出品作・部分）
- [製 作] ニューカラー写真印刷株式会社

第118回日展図録（日本画）

- [判 型] A4判変型（タテ29.7cm×ヨコ22cm）68頁 288点掲載
- [発行日] 令和7年11月5日
- [発行部数] 1,300部
- [定 価] 3,500円 [税込]
- [内 容] 日本画部門の全陳列作品をオールカラーで収録、作家名・作品題名（読み仮名・英訳付）、作品寸法、審査所感、諸資料掲載
- [表 紙] 渡辺信喜（出品作）
- [製 作] ニューカラー写真印刷株式会社

第118回日展図録（洋画）

- [判 型] A4判変型（タテ29.7cm×ヨコ22cm）136頁 663点掲載
- [発行日] 令和7年11月5日
- [発行部数] 2,200部
- [定 価] 3,500円 [税込]
- [内 容] 洋画部門の全陳列作品をオールカラーで収録、作家名・作品題名（読み仮名・英訳付）、作品寸法、審査所感、諸資料掲載
- [表 紙] 小灘一紀（出品作）
- [製 作] ニューカラー写真印刷株式会社

第118回日展図録（彫刻）

- [判 型] A4判変型（タテ29.7cm×ヨコ22cm）56頁 206点掲載
[発行日] 令和7年11月5日
[発行部数] 500部
[定 価] 3,500円 [税込]
[内 容] 彫刻部門の全陳列作品をオールカラーで収録、作家名・作品題名（読み仮名・英訳付）、作品寸法、審査所感、諸資料掲載
[表 紙] 山田朝彦（出品作）
[製 作] ニューカラー写真印刷株式会社

第118回日展図録（工芸美術）

- [判 型] A4判変型（タテ29.7cm×ヨコ22cm）120頁 571点掲載
[発行日] 令和7年11月5日
[発行部数] 1,200部
[定 価] 3,500円 [税込]
[内 容] 工芸美術部門の全陳列作品をオールカラーで収録、作家名・作品題名（読み仮名・英訳付）、作品寸法、技法表記、審査所感、諸資料掲載
[表 紙] 春山文典（出品作）
[製 作] ニューカラー写真印刷株式会社

第118回日展図録（書）

- [判 型] A4判変型（タテ29.7cm×ヨコ22cm）224頁 カラー214点、モノクロ1,065点、合計1,279点掲載
[発行日] 令和7年11月5日
[発行部数] 3,000部
[定 価] 3,500円 [税込]
[内 容] 書部門の全陳列作品を全会員・審査員・てん刻はカラー、他はモノクロで収録、作家名・作品題名（読み仮名・英訳付）、作品寸法、審査所感、諸資料掲載
[表 紙] 土橋靖子（出品作）
[製 作] 株式会社D-BREAK

絵はがき（オフセット印刷）

- [判 型] はがきサイズ（10.5cm×15cm）
[定 価] 400枚単位—27,500円[税込]（売店販売定価1枚—150円[税込]）
[製 作] ニューカラー写真印刷株式会社、半七写真印刷工業株式会社

カラー写真

- [判 型] キャビネサイズ（12.7cm×17.8cm）
[定 価] 10枚単位—6,600円[税込]（売店販売定価1枚—400円[税込]）
[製 作] ツツラボ

日展ニュースの発行

第190号	令和7年6月30日発行	発行部数 9,700部
第191号	令和7年9月29日発行	発行部数 9,700部
第192号	令和8年2月17日発行	発行部数 9,700部

15 美術に関する研究及び調査

日展会館企画実施内容

[会館スペースの貸出し]

展覧会場や会議・研究会の場として、会館スペースの貸出しを行った。

(展覧会)

名 称	展 示 内 容	開 催 期 間	会 場
第18回プラチナアート大賞展2025	絵画作品	令和7年 5月23日～5月25日	日展会館
慶應義塾中等部 美術部 OB・OG・現役展	絵画作品	令和8年 1月14日～1月18日	日展会館
第5回スケッチ研究会作品展	絵画作品	令和8年 3月13日～3月15日	日展会館

(会議・研究会・教室等 使用団体)

一般社団法人 新極美術協会
芥子園研究会
公益社団法人 日本新工芸家連盟
公益社団法人 日本新工芸家連盟 関東地区会
公益社団法人 日本彫刻会
スケッチ研究会
東京地区合同絵画研究会
日春会
白日会
蒔絵の会

(令和7年度会館スペース貸出収入) *金額は税込
合計 1,045,350円 前年度比 -352,350円

[自主企画展]

会館スペースを利用し、自主企画展(入場無料)を開催。

名 称	展 示 内 容	開 催 期 間	会 場
第20回Oneday Art 作品発表会	ワンデイアート参加者の 制作による日本画・洋画・ 彫刻・工芸美術・書作品	令和7年 8月16日～8月20日	日展会館